

# 地域密着型の特別養護老人ホームが開設

## ～特別養護老人ホーム『能舞の里』落成式～

7月31日、桑原地区に完成した特別養護老人ホーム『能舞の里』（社会福祉法人吉幸会）の落成式が行われました。

はじめに、完成した能舞の里において蒲野沢青年会による屋固めが行われ、施設及び関係者の無事故・無病息災が祈禱されました。

続いて行われた落成式では、主催者である吉幸会の上山貢理事長より「施設の名称については、村では国の重要無形民俗文化財にも指定されている能舞が盛んであることから、地元

の皆さんに親しまれるよう『能舞の里』と名付けました。今後は地域の皆さんと一体となつてどなたからも愛される施設に育てていきたい」と挨拶があり、また、越善靖夫村長より「当村において特別養護老人ホームが初めて開設されることにより、老人介護の充実、住民福祉の向上に寄与するものと期待しております。また、『能舞の里』という名称や、地元出身者を施設職員として多く雇用するなど、地域密着型の施設で

あり、将来にわたり村民に親しまれる施設となるよう念願します。施設の落成、まことにおめでとうございます」と祝辞が述べられました。

次に、施設の完成を祝して関係者一同による鏡開きが行われ、また、祝宴では、蒲野沢青年会による祝舞や、能舞の里職員による餅つき踊りが披露されました。



挨拶をする上山理事長



祝辞を述べる越善村長



関係者一同による鏡開き



能舞の里の職員による餅つき踊り



蒲野沢青年会による屋固め

